

～♪新1年生が入学しました♪～

大澤隼人（左から2番目）

5年の社会人生活を経て、一念発起で鈴鹿短期大学に入学しました。あっという間に本科の2年が過ぎ去り、年を重ねてしまいましたが、専攻科での残り2年を全力で邁進する所存です。三重県初の男性養護教諭を目指して。

亀田えりか（真ん中）

本科2年、講師か専攻科か迷っているころ、とある先生に「養護教諭になるための最短ルートだ」と言われ、その言葉を信じ、専攻科に入学しました。あとの2人に置いていかれないように必死に食いついていきます。



中山あやね（右から2番目）

こんにちは。専攻科に入学したなかやまです。本科入学時から、専攻科への進学を考えていました。想像以上に授業は大変ですが、本科の時よりも、とても充実した日々を送っています。

大野先生（左1番目） 川又先生（右1番目）

ビシバシ指導します！

2ヶ月が経過して…

専攻科に入学して早くも2ヶ月が経過しました。専攻科の学生には研究室が与えられており、1年生と2年生がその部屋で過ごしています。去年度までは2年生が夜間だったため、1、2年生が同じ部屋で過ごすという体制は実質今年度が初めてと言えるのではないのでしょうか。初めは、先輩たちの基地に我々1年生がお邪魔するという意識でいたため、研究室のドアも恐る恐る開けていたものです。しかし、先輩たちは我々を温かく迎え入れてくれて、授業のことや先生のことなどいつも色々教えていただいています。今ではすっかり我が物顔でドアを開ける次第であります。

専攻科の授業は本科の時とは違い、学生が主体で進められるものが多いです。半分くらいの授業が、担当する内容について担当者が自分で調べ、まとめて、資料を作り、発表するという形をとっています。しかも3人体制と少人数であり、担当がすぐに回ってくるため、この2ヶ月は課題に追われる日々を送っています。

研究室では、各々の課題や修了研究を進めるため、先輩たちが一心不乱にパソコンを叩く音が響いています。我々1年生もその背中を見て、少しでも近づけるように毎日パソコンとにらめっこしながら奮闘しています。研究も少しずつ動き始めています。今後はさらに気を引き締めて、日々を励んでいきたいです。

